

CONTENTS

特集
Special Features

情報の価値化・知識化技術の実現へ 向けて

Toward Establishing Technologies to Extract Value and Knowledge from Information

- 811** 編集にあたって 山之内徹
Foreword Toru YAMANOUCHI (NEC Corp.)
- 813** 1. 学術創成としての知の構造化—東京大学工学系研究科における試み— 松本洋一郎
Knowledge Structuring as a Scientific Innovation - Trial at School of Engineering, the University of Tokyo - Yoichiro MATSUMOTO (The Univ. of Tokyo)
- 819** 2. 社会問題解決のための知の構造化 堀井秀之
Knowledge Structuring for Resolution of Social Issues Hideyuki HORII (The Univ. of Tokyo)
- 824** 3. テキストマイニングによる潜在的知識の発見支援 小池麻子
Text Mining : Assistance for Knowledge Discovery Asako KOIKE (Hitachi, Ltd.)
- 830** 4. CGM マイニングと知識化 山西健司・森永 聡・松村憲和
CGM Mining and Knowledge Organization Kenji YAMANISHI, Satoshi MORINAGA and Norikazu MATSUMURA (NEC Corp.)
- 837** 5. チャンス発見からバリューセンシングへ 大澤幸生
Process of Chance Discovery Extended to Value Sensing Yukio OHSAWA (The Univ. of Tokyo)
- 843** 6. オントロジーに基づく知識の構造化と活用 橋田浩一・和泉憲明
Ontology-Based Organization and Application of Knowledge Kōiti HASIDA and Noriaki IZUMI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

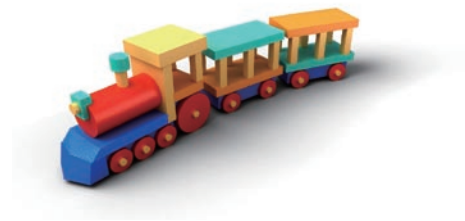
解説
Articles

- 857** セマンティック Web と言語資源・言語技術 林 良彦
Semantic Web and Language Resources, Technologies Yoshihiko HAYASHI (Osaka Univ.)
- 864** 安全・安定に寄与する鉄道情報処理技術(前編)—制御系システム
片岡健司・明日香昌・駒谷喜代俊
Railway Information Technology for Safety and Stability (Part I) - Control Systems Kenji KATAOKA, Masashi ASUKA and Kiyotoshi KOMAYA (Mitsubishi Electric Co.)
- 873** 電子ペーパーが創るユビキタス社会—電子ペーパークライアントを目指して—
服部励治・井上創造
The Ubiquitous Society with Electronic Papers - Toward the Electronic Paper Client System - Reiji HATTORI and Sozo INOUE (Kyushu Univ.)
- 889** デジタルフォレンジック～電磁的証拠の収集と分析の技術～ 上原哲太郎
Digital Forensics : Technologies for Acquisition and Investigation of Digital Evidence Tetsutaro UEHARA (Kyoto Univ.)
- 899** 大規模データ処理のための簡潔データ構造 定兼邦彦
Succinct Data Structures for Large-Scale Data Processing Kunihiko SADAKANE (Kyushu Univ.)

- 849 ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会報告 笥 捷彦・丸山 宏
Report of the 31st ACM ICPC World Finals Held in Tokyo Katsuhiko KAKEHI (ACM Japan chapter) and Hiroshi MARUYAMA (IBM Research, Tokyo Research Lab.)
- 884 第1回 UEC コンピュータ大貧民大会 (UECda-2006) の実施報告 西野哲朗
Report of the First UEC Computer DAIHINMIN Championship (UECda-2006) Tetsuro NISHINO (Univ. of Electro-Communications)

- 903 仮想マシン道しるべ 仮想マシン草創期 大町一彦
A Guide for Virtual Machine Technologies : Beginning of Virtual Machine Kazuhiko OHMACHI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 906 グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術 SOA に求められる信頼性を実現する
WS-RX, WS-TX 山本展之・西山英作
Explanations of Web Service Standards from the Viewpoint of Grid Computing and Service Oriented Architecture : Introduction to Web Services Reliable Exchange and Web Services Transaction Nobuyuki YAMAMOTO and Eisaku NISHIYAMA (Hitachi, Ltd.)
- 914 これからの情報処理学会 実務家から見た情報処理学会 玉置政一
Thoughts about the Future IPSJ : IPSJ for a Businessman Masakazu TAMAKI (NTT DATA Corp.)
- 917 「情報学を創る」特定領域研究「情報爆発 (Info-plosion)」への新展開
喜連川優
Creating Informatics : Info-plosion : Cyber Infrastructure for Information Explosion Era Masaru KITSUREGAWA (The Univ. of Tokyo)

- 920 研究会千夜一夜 情報学基礎研究会 吉岡真治
1001 SIG Nights : Special Interest Group on Fundamental Informatics Masaharu YOSHIOKA (Hokkaido Univ.)
- 922 研究会千夜一夜 オーディオビジュアル複合情報処理研究会 (AVM) はどんな研究会? 小池 淳
1001 SIG Nights : What is the Audio Visual and Multimedia Information Processing (AVM) ? Atsushi KOIKE (KDDI R&DLabs., Inc.)
- 924 研究会千夜一夜 自然言語処理 (NL) 研究会 中川裕志・森 辰則
1001 SIG Nights : SIGNL (Natural Language) Past and Present Hiroshi NAKAGAWA (The Univ. of Tokyo) and Tatsunori MORI (Yokohama National Univ.)
- 926 標準化よもやま話 サイバーセキュリティのグローバル文化の創造または国際標準化
苗村憲司
Small Talk on Standardization : Creation of a Global Culture - or International Standardization - of Cybersecurity Kenji NAEMURA (Institute of Information Security)



- 927 情報技術の国際標準化と日本の対応－2006年度のISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動－
情報規格調査会

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 933 おふいすらん | 945 会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集!! |
| 934 会員の広場 | 946 おふいすらん |
| 936 IPSJ カレンダー | 951 アンケート用紙 |
| 938 人材募集 | 952 編集室/次号予定目次 |
| 943 有料会告 | 953 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 944 有料会告について | 954 賛助会員のご紹介 |



過日、高橋秀俊先生の「人間8則」の出典を調べた。とにかく検索。「高橋秀俊」だけでは多すぎ、「高橋秀俊 数理」でも「手に入らない書籍」ばかり。気分を変えて「人間は気まぐれである」とやったらかなり出てきたので次に「人間は気まぐれである 高橋秀俊」ですらっと並んだ。しかし、「物理の散歩道」派と「数理と現象」派が拮抗している。結局「数理と現象、岩波書店、1957」に落ち着いた。今月号の特集は「情報の価値化・知識化技術の実現へ向けて」で、片山博、山之内徹がエディタ。知識を構造化し新しい価値創造や気づきに役立たせようという研究の話。学術創成や社会技術のため、チャンス発見、バリューセンシング、セマンティックオーサリングと続く。アマゾンの“こんな本も買われています”の拡張現実版のような話もある。冒頭の話のような作業の支援も期待できるのだろうか。

「セマンティック Webと言語資源・言語技術」(林良彦)では、意味レベルでの相互運用性の重要性が語られる。

「安全・安定に寄与する鉄道情報処理技術(前編)」(片岡健司, 明日香昌, 駒谷喜代俊)は、鉄道の情報技術のうち、車輛と軌道に関するもの。「安全側」の定義が明確なので他の交通手段より自動化が進んだ」は、何となく了解する感じ。

「大規模データ処理のための簡潔データ構造」(定兼邦彦)は、検索のための索引データを小さくする話。いささかまぎらわしい題ではある。

「デジタルフォレンジック～電磁的証拠の収集と分析の技術～」(上原哲太郎)は、情報社会において法医学の役割を果たす技術群の紹介。「何かあったときに役立てる予防的処理」の運用が、社会的要請とマッチするかどうかの問題。監視カメラ問題と同様。

「電子ペーパーが創るユビキタス社会—電子ペーパークライアントを目指して—」(服部励治, 井上創造)は、実用化にまい進している電子ペーパーの物理構造とシステムの話。

「第1回UECコンピュータ大貧民大会(UECdA-2006)の実施報告」(西野哲朗)は、コンピュータゲームの新しい潮流、というにはゲーム記述が“情報系の学問に馴染みのない方”が書いたようであったのが残念。ただし、この種の活動が盛んになることは大いに歓迎したい。

「ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会報告」(筧捷彦, 丸山宏)は、標記の大会の実施報告。実際のプログラミング問題も示されている。

「実務家から見た情報処理学会」(玉置政一)は“これからの情報処理学会”のシリーズ。

「SOAに求められる信頼性を実現するWS-RX, WS-TX」(山本展之, 西山英作)は“グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術”のシリーズ。コラムとしてまとめられている「標準化の経緯とポリシー」が面白い。

「仮想マシン草創期」(大町一彦)は“仮想マシン道しるべ”のシリーズ。“メインフレームはMauchlyとEckertにより発明された”というのにはちょっと違和感はある。

「特定領域研究『情報爆発(Info-plosion)』への新展開」(喜連川優)は連載「情報学を創る」を終えるにあたって、その発展である次のプロジェクトとの関連の紹介。

「サイバーセキュリティのグローバル文化の創造または国際標準化」(苗村憲司)は“標準化よもやま話”のシリーズ。「文化を標準化するな」という声に対抗して“運命共同体の意識”をもとに話を進めるらしい。うまくいくのであろうか。

「情報学基礎研究会」(吉岡真治)と「オーディオビジュアル複合情報処理研究会(AVM)はどんな研究会?」(小池淳)と「自然言語処理(NL)研究会」(中川裕志, 森辰則)とは、“研究会千夜一夜”のシリーズ。

「情報技術の国際標準化と日本の対応」(情報規格調査会)は同会の2006年度活動報告。今年は電子パスポートの標準化の詳しい解説がある。(Skay)



会誌編集委員会

編集長

川合 慧

担当理事

長谷川 亨

松原 仁

本号エディタ

安達 淳

池田 誠

石田 亨

片山 博

兼宗 進

木戸 彰夫

久門 耕一

胡 振江

佐伯 元司

坂本 忠昭

白木 善尚

関谷 貴之

但馬 康宏

田中 哲朗

土井美和子

野村 佳秀

前田 英作

間瀬 久雄

三浦健次郎

元木 光雄

山之内 徹

山本里枝子

編集スタッフ

後路 啓子

町田 善江

綿谷 亜樹